学校法人豊栄学園都城東高等学校
〒889-1996 北諸県郡三股町大字樺山 1996 番地　TEL：0986-52-1010　FAX：0986-52-1011
2015 年 3 月発行　No.009

Miyakonojo Higashi High School
Newsletter

光陰矢の如し、１８４名の巣立つ。

祝卒業

三月一日（日）に、第四八回卒業証書授与式・自動車専攻科第五回修了証書授与式が本校体育館で行われました。清水理事長は訓辞で「人間として深く生き、理性と感性とを調和させた、輝く人生を歩み、人生に幸多いことを祈り続けております。」と激励しました。卒業式後のホームルームでは、担任が一人一人に卒業証書を手渡し、それぞれに三年間の思い出と共に、生徒達へ高校生活最後の言葉をかけていました。

“For the students who will accomplish with faithfulness”

都城東から世界へ！ *To the world from Miyakonojo Higahi*

～日本の未来をささえ、グローバルな舞台で活躍できる『人材』を育成します～

本校が推進している『グローバル教育』を、海外での語学研修を経験した生徒や活躍中の *English Teacher* の感想や気持ちを通して伝えていくページです。

語学研修 Language training クローズアップ

『フィリピン語学研修を』

普通科 ２年生 **鮫島 なつみ**さん（末吉中出身）

私は３カ月間のフィリピン語学研修を終えて、嫌いだった英語がとても好きになりました。行く前は、英語がもっと嫌いになるのではないかと不安でした。しかし、英語が伝わってコミュニケーションが取れるようになると、とても嬉しくなりました。そのおかげで、単語を少しずつ勉強して英語を学ぶ楽しさを知ることができました。また、スタッフや先生方、そして現地の友人が、伝わらないことがあれば、簡単な単語を使って優しく教えてくれ、とても解りやすかったです。 生活に関して、楽しいことも、辛いことも両方たくさんありました。その中でも、集団生活を通して、団体行動の大切さや協調性を学ぶことができたのではないかと思います。また、日本で暮らしていた時と比べると自立するということを意識するようになりました。 このような経験ができたのも、フィリピン語学研修に参加できたおかげだと思います。学んだことを忘れず、将来に対する進路選択や、今後の生活に活かしていきたいです。

We Don’t Count Months but Moments

Our Unforgettable Moments

- Carren Sensei
“My first ever glimpse of the snow shower. I almost cried.”
- Trisha Sensei
“Getting lost in the dark because we were brought on a different place that we expected.”
- Leah Sensei
“The unexplainable feeling of finding a place to worship.”
- Mylene Sensei
“When we walked for eternity.”
- Art Marie Sensei
“Walking for almost 6 hours. So tiring!”
- Camille Sensei
“When we cried during the graduation ceremony even Nihonggo wakarimasen.”
- Leanna Sensei
“The surprisingly oishi foods.”
- Mayumi Sensei
“Remembering my own graduation through the school’s ceremony.”
- Philline Sensei
“The Mouth-watering foods that the sensei’s has brought and made for us.”
- Zoey Sensei
“No other than the fun on playgrounds!”

It Has Been A Month of Moments

It feels like we’d been here just yesterday because we haven’t noticed it all, the ticking of the clock,the days that have gone,and this one month that has passed away. Knowing that sooner we will not anymore be teaching the same class after spring break makes us sad. It has been fun being with students. We will always remember them and leave them space in our hearts. On the other hand, the staffs have been very kind to us and always offer us their helping hands which made our work lightier. Aside from school, we have done some activities as well,such as having a lunch party at Kataoka Sensei’s crib, going to our churches, and going to different places around Mimata town.We may not remember the number of days we have been in this wonderful place but the moments that we had will always be sculpted in our hearts forever.

“The butterfly counts not months but moments, and has time enough.”
~ Rabindranath Tagore

世界で活躍する若者を育てます To the world from Miyakonojo Higashi

デュアル教育
職業教育による本物の人材育成

グローバル教育
グローバル化に対応出来る人材育成

儒教道徳教育
日本人としての基本的人格の育成

学校法人豊栄学園 都城東高等学校 〒889-1996 北諸県郡三股町大字樺山 1996 番地
TEL：0986-52-1010　FAX：0986-52-1011　E-mail:mh-hs-so@btvm.ne.jp
都城東高等学校広報誌　第９号　発行日：2015 年 3 月 25 日　発行：学校法人豊栄学園都城東高等学校　編集：学園本部

学校の最新情報はウェブサイト（http://miyako-higashi.ac.jp/）でチェックできます。

ハンガリー国から視察に訪れました。

左３人目の女性から、イルディコ校長・ソーラ市長・ギョルギ秘書・クリストフ君

３月５日(木)に、ハンガリー国ハイドゥナーナーシュ市の市長であるソーラ氏と、本校との提携校である、クルーシ・チョマ・シャンドール高校のイルディコ校長、同校学生のクリストフ君が視察・意見交換へ来日され、都城市長、三股町長への表敬訪問後、本校の調理科で実習体験、剣道部の見学体験等を行いました。今後は、本校とクルーシ・チョマ・シャンドール高校で、生徒や教員間の交流を行い、フィリピンだけでなくヨーロッパや他の国々にも交流を広げてまいります。

市長への表敬訪問では、世界に誇る日本の農業技術を農業国であるハンガリーへの参考にしたいとの考えを語りました。

三股町では、ハイドゥナーナーシュ市と同規模である三股町の政策等の話題となり、今後も交流していきたいと語りました。

今回、提携を結んだ高校やハンガリーへの交流や教員・生徒の交換派遣についての話題が交わされました。

調理科での実習体験で、初めて作る天ぷらにクリストフ君も興味深々で、ぎこちないながらも丁寧に調理を行なっていました。

狩猟もするというソーラ市長は、なれた手さばきで包丁を扱い、本校調理科の生徒達から感嘆の声があがりました。

ハンガリーでも剣道をしているクリストフ君は、本場の剣道練習を体験し「とても楽しかった」と語りました。

“For the students who will accomplish with faithfulness”

小田島 裕一先生 講演「夢からはじまるキセキ」

２月 23 日（月）に行われた第７回特別講演会では、元ウガンダの野球代表チームの監督である小田島裕一先生から「夢からはじまるキセキ」を演題として講演をしていただきました。「夢を持つことは青春の特権であり、夢さえあればどこまでも成長できる。夢は、未来を開く『宝の鍵』」と、ビデオ映像を交え、熱っぽく語っていただきました。

講演のなかで、「あなた方は、“今”というこの時期を選んで、自らの意志でこの世に生を受けた。だから、生きていることに必ず『意味』があり、自分が果たさなければならない『使命』を全員が持っている」との深い言葉も語っていただきました。

夢は、挑戦しぬいていってこそ、現実のものとなります。夢を大きく持って、走れるところまで走る。その分だけ、自分自身を大きく変えることができるし、自分の世界を広げることができます。そのための指針となる「考え方」や「生き方」を心に持ち、どこまでも自分を信じることが大切になります。

私たちは、今は平凡で未熟な存在かもしれません。「成績が悪い、根気がない、運動が苦手、……」と自分の未熟さを嘆くよりも、「今、心にどんな夢を持っているか」、そして「今、どんな希望に向かって努力しているか」のほうがずっと大切であることを教えていただきました。

小田島先生の講演を聴いての感想文　～今後、どのように自分を変えていくか～

“本気になればすべてが変わる”の言葉を聞いて、私も苦しいことから逃げずに、全力で本気になって生活を送りたいです。自分の生まれて持った役割を、いろんなことに挑戦し、いろんな人と出会って探していきたいです。　（調理科２年生女子）

“For the students who will accomplish with faithfulness”